



学校だより

横浜市立六つ川台小学校

平成27年5月29日

6月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

ふれあうことで、心を育てる

学校長 柳澤 潤

1・2年生の子どもたちは、登校後すぐに、自分が育てているアサガオや野菜の苗の観察をしています。「葉っぱがいっぱいになって、(鉢の)土が見えなくなった」「キュウリの花が咲いたよ」「トマトの実が大きくなった。まだ、緑色だよ」「1年生のアサガオはずるいなあ。去年の時より大きいよ」など、朝から話が弾んでいます。日々の変化を楽しみにしている様子から、一人ひとりの植物に対する、特別の思いを感じます。

毎日欠かさずに水をやり、葉っぱや茎、花の様子を観察しているうちに、自分の感情の中から、優しい感情が引き出されて、植物とのかかわりが楽しくて仕方がなくなる……。こんなふうに、植物とのふれあいは、子どもたちにとっても、豊かな経験と時間になっているようです。

他学年も、ツルレイシやホウセンカ、ヒマワリ、ジャガイモなど、植物を育てる活動があります。5年生は先日、学校の水田で「田植え」をしました。小さな教育水田ですが、自分たちで種籾から育てた稲を、ていねいに素手で植えました。久々の感触だったので、ぬるぬるの土を相手に「田植え」を終えた後は、みんな興奮気味でした。

ふれあうことで、また、ふれあいの機会をつくることで、豊かな感情が引き出されて、自分の心を自分で育てていきます。植物や自然、人とのふれあいを意図的につくるのは、学校教育の大きな役割だと思います。

さあ、明日は、台小の運動会です。今日まで子どもたちは、5月30日に行われる運動会に向けて、どの学年も練習に汗を流してきました。「もえろ!! 台小40周年 みんなかがやく運動会」とのテーマを掲げています。1年生にとっては、小学校初めての運動会。徒競走も2年生との演技も、応援合戦も、暑い中での長時間の参加になります。十分な水分補給にも配慮が必要です。演技・競技は1・2年、3・4年、5・6年の二学年合同です。それぞれに練り上げて、見応えがあります。5・6年のソーランは、地域町内会の法被をお借りして、演技します。毎年、踊りや隊形変化、最後のポーズを工夫して披露します。低学年・高学年のリレーもわくわくします。応援合戦も楽しみです。新たな伝統、ドラマが必ず生まれます。

運動会は他学年とのふれあいの場。一体感のある運動会を作っていきます。そして、保護者の皆様や地域の皆様から、応援と声かけ、励ましのシャワーをいただきたいと思います。

法政大学教授の尾木直樹氏は、新聞への寄稿文の中で、「人の心は教え込むものではなく、子どもたちが感性として身につけていくもの」と語り、「親をはじめとする周囲の大人から信頼され、愛されていると感じた子どもは、自分や他人を信頼し、愛情を持つようになる。……。他人への優しさ、自分への誇りを優先して育むよう、考え方を変えなければいけない……」と指摘しています。

保護者の皆様の共感の一言、地域の皆様の励ましの一言が、子ども自身が本来もっている、他人への優しさ、自分への誇りを育てていきます。今後とも、ふれあう場面を大切にいただき、応援をよろしく願います。